

2026年3月26日

各位

株式会社北陸銀行

**株式会社寺本トーヨー住器の ZEB 新社屋建設の取り組みを支援**

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）は、株式会社寺本トーヨー住器（代表取締役 寺本 富二夫）の ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）新社屋建設の取り組みにおいて、ES 株式会社（代表取締役 山口 賀央）と連携し支援を実施いたしました。

記

## 1. 概要

北陸銀行は、株式会社寺本トーヨー住器が社屋の新築移転に伴って脱炭素をコンセプトとした新社屋の建設を進めるにあたり、ES 株式会社と連携し、環境省「令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」への申請を支援して採択されました。2025年7月に ZEB 認定を取得した新社屋が完成し、2026年3月に新社屋への移転が行われました。



新社屋イメージ

## 2. ZEB について

ZEB とは「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略称で、快適な室内環境を実現しながら建物の消費する一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。ZEB 認定を取得するには高い省エネ性能を備え建物の消費エネルギーを大幅に抑えるだけでなく、消費エネルギーを上回るだけの創エネ設備を備える必要があります。一般的には建築コストが高くなりますが、本件では環境省の補助金を活用することでコストの最適化を実現しました。

## 3. 株式会社寺本トーヨー住器について

寺本トーヨー住器は 1984 年に創業し、現在は LIXIL FC として地域に根差した住生活建材の販売施工を手掛けております。今回の新社屋建設の取り組みにおいては、コンセプトとして計画段階より木造での環境配慮型建築を目指し、ZEB 仕様のオフィスを設計しました。LIXIL SW（高気密高断熱高効率換気）工法を採用し、外部建具はアルミ樹脂複合サッシの「TW」、トリプルガラスを取り入れました。また、高効率エアコンや給湯器、屋根には太陽光パネルを設置し、外土間と内土間には廃プラスチック再生床材レビアペイブ等を採用しました。これらの工夫の結果、高効率で環境に配慮した新社屋が実現しました。今後はこの新社屋を木造住宅建築、非住宅木造建築のロールモデルとして活用し、広く PR してまいります。

また、地域と連携を図り、新社屋を災害時の一次避難所としても活用予定です。

#### 4. ES 株式会社について

ES 株式会社は、1992 年の創業以来、企業・施設向けに省エネルギー診断から改善提案、設備更新、実行支援、効果検証までを一貫して担うワンストップ型コンサルティングを展開しています。こうした実行支援力を基盤に、近年は脱炭素経営の高度化に対応し、SBT 目標の達成およびカーボンニュートラル実現に向けた排出削減計画の策定や CO<sub>2</sub>削減投資の実行支援へとサービス領域を拡張しています。さらに、金融機関とのアライアンスを通じて GX 支援を推進し、地域企業の脱炭素化を後押しすることで、脱炭素市場の成長を取り込みつつ、環境価値と企業価値の向上を実現しています。

#### 5. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。  
ほくほくフィナンシャルグループは 2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

ほくほくフィナンシャルグループ SX 推進部

TEL : 076-423-7331